

【提言の背景】

- 地球温暖化の進行を考慮すれば、熱中症による被害が今後深刻化するおそれ（官邸主導による危機管理体制強化の必要性）。
- 令和4年夏は平年に比べ全国的に暑くなるとの予測。
- 電気料金高騰等により、熱中症の予防に不可欠なエアコンの利用を控える懸念。
- 大規模災害など広範囲にわたる災害を想定し準備を進めることが必要。
- 高齢者や子どもにとって、今やエアコンの利用の有無は命に関わる問題。
- 特に熱中症にかかりやすい子どもの命と健康を守るため学校現場における取組が急務。
- 熱中症死亡者数、年間1000人の政府目標に甘んずることなく、近年の死亡者数の水準からの「半減」を目指す必要。

議員連盟として、熱中症被害から国民の命を守るため、熱中症対策推進に関し法制化を目指すことを決議するとともに、
一層の熱中症対策を下記のとおり提言する。

【令和4年夏に向けた重点対策】

1. エアコンの確実な利用

- エアコンの利用の有無は命に関わる問題であり、エアコン利用の重要性を一層周知すること。
- 生活に困っている方々においてもエアコンを確実に利用できるよう先般取りまとめられた政府の総合緊急対策を適切に執り行うこと。
- 災害や電力需給調整による停電によりエアコンの利用に支障が生じる場合に備えた対策を検討すること。
- 設置率の低い体育館等の公共施設におけるエアコンの普及促進を早期に図ること。

2. 熱中症警戒アラートの更なる活用、学校現場や地方公共団体における熱中症対策の促進等

- 屋外で人との距離が十分確保できる場合等にはマスクを外しても差し支えないこと等を適切に周知すること。
- 各学校においては、各学校現場の個別状況を十分に踏まえ、熱中症対策に関するガイドラインを作成すること。
- 熱中症警戒アラートにつき、国民がより分かりやすい内容とするよう早急に改善に向けた検討を進めること。
- 地方公共団体が、関係部局が連携して円滑に熱中症対策を行うことができるよう、政府においては適切な助言、連携等の支援を強化すること。また、広範囲にわたる大規模災害等も念頭に、地域において適切な対応をとることができるよう、政府と地方公共団体が連携して事前の備えを行うこと。